

EZGlyco® O-Glycan Prep Kit アプリケーションノート（使用上の注意）

サンプル中にスクロース等の低分子化合物（塩、安定化剤）を多く含む場合、カラムが詰まったり、シグナル値が低下する場合があります。特に単糖・二糖類を安定化剤としてサンプル中に含む場合、脱塩をかねて低分子除去ならびに溶媒置換処理を前処理として行うことをおすすめします。一例としてスクロースを含むタンパク質溶液の前処理例を下記に示します。（各分析条件は次項記載）

1) スクロースを含む糖タンパク質

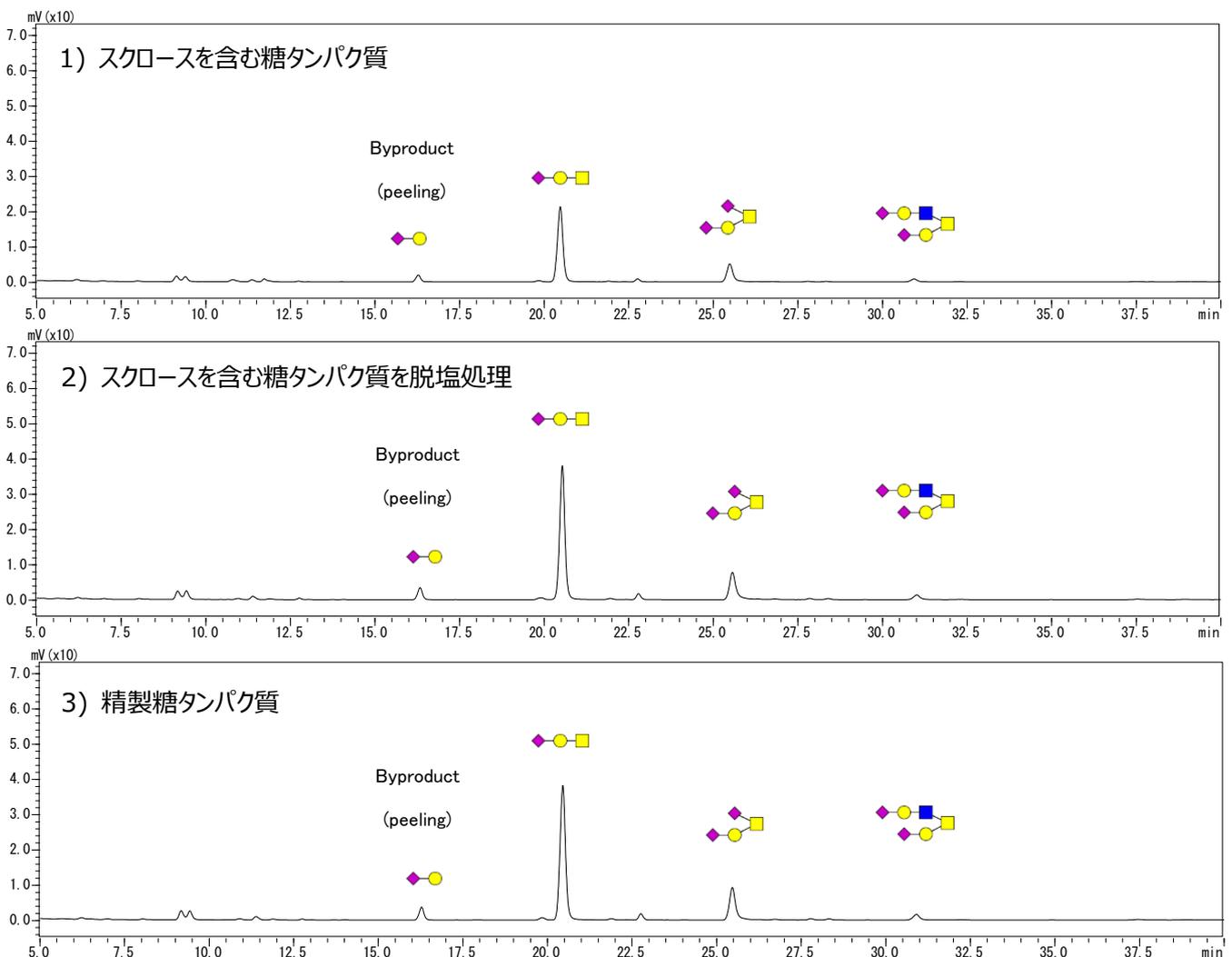
（詳細）1%スクロースを含む Fetuin 溶液を本キットで処理し、回収された標識 O 型糖鎖溶液約 50 μL のうち 1 μL を用いて HPLC 分析を実施。糖鎖由来のシグナル値が低下。

2) スクロースを含む糖タンパク質を脱塩処理

（詳細）1%スクロースを含む Fetuin 溶液を Thermo Scientific™ 社製 Zeba™ Micro Spin Desalting Column（カタログ番号：89877）を用いてスクロース除去を実施*。このスクロース除去したサンプルを本キットで処理し、得られた標識 O 型糖鎖溶液約 50 μL のうち 1 μL を用いて HPLC 分析を実施。シグナル値の低下はみられず 3) と同様の結果が得られた。

3) 精製糖タンパク質

（詳細）20 μg の Fetuin 溶液を本キットで処理し、回収された標識 O 型糖鎖溶液約 50 μL のうち 1 μL を用いて HPLC 分析を実施。



分析サンプル例

Fetuin 溶液 : Sigma 社製 Fetuin from fetal bovine serum(Cat#F3004)を 50 mM Ammonium Bicarbonate 中に 2 mg/mL に溶解し、10 μ L 使用。

スクロースを含む Fetuin 溶液 : Sigma 社製 Fetuin from fetal bovine serum(Cat#F3004)を 1% スクロース, 50 mM Ammonium Bicarbonate 中に 2 mg/mL に溶解し、10 μ L 使用。

分析条件

LC system:	Nexera, Shimadzu			
Column:	ACQUITY UPLC [®] Glycan BEH Amide, 1.7 μ m (2.1 x 150 mm)	Time (min)	%A	%B
Column temp.:	40 $^{\circ}$ C	0.00	0	100
Flow rate:	0.2 ml/min	50.00	100	0
Injection volume:	1 μ L	65.00	100	0
Fluorescence detection:	Ex 330 nm/Em 420 nm using an RF-20Axs	65.01	0	100
Mobile phase A:	40% acetonitrile aq. containing 0.1% formic acid	80.00	0	100
Mobile phase B:	90% acetonitrile aq. containing 0.1% formic acid			

問い合わせ先

住友ベークライト株式会社 ヘルスケア営業本部 バイオ事業開発部

E-mail: s-bio@sumibe.co.jp、TEL: 03-5462-4831